

2008

8月4日から6日まで広島でおこなわれた原水爆禁止 2008 年世界大会に、市議団からは橋本しげき市議が参加しました。

4日の開会総会には 6800 人が参加しました。秋葉広島市長があいさつし、幕はあきました。

5日は分科会。橋本市議は「非核平和の日本へ—非核日本宣言と非核自治体運動」に参加しました。全国各地の自治体で平和の取り組みが広がっています。武蔵野からも平和を発信するとりくみをさらに広げていきましょう。

6日は平和記念式典が平和記念公園で行われました。秋葉市長は平和宣言のなかで、日本政府に対し、憲法の順守、核兵器廃絶へ向けた主導的役割の発揮、原爆症の認定などにあたり海外の被爆者を含め被爆者への実態に即した援護策の充実、を求めました。

そして、閉会総会。7500 人が参加した感動のフィナーレ。大会決議「広島からのよびかけ」と特別決議「原爆症認定問題のすみやかな解決を要求します」が採択されました。この大会に集まったみなさんが帰ってから自分たちの地域で平和のとりくみを大きく広げていけば、核兵器をなくし戦争をくいとめる大きな力になっていくでしょう。

被爆 63 年目の広島・長崎。被爆体験の継承も課題です。今年の大会には、これまでで最高の9カ国の政府とアラブ連盟の代表が参加しました。また、大会の参加者の半数が青年で、若い世代の活躍も目立った活気あふれる大会でした。

新署名が開始されました

原水爆禁止 2008 年世界大会では、2010 年の核不拡散条約（NPT）再検討会議に向けた全世界的な共同行動の一環として、新署名「核兵器のない世界を」の開始が宣言されました。新署名は、核保有国に核兵器廃絶の「明確な約束」の実行を求め、すべての国の政府がすみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結するようよびかけています。署名へのご協力をお願いします。

邑上市長が8月1日付で平和市長会議に加盟しました。平和市長会議とは、1982年に当時の広島・長崎両市長が国連軍縮特別総会で提起した「核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画」に賛同する世界各国の都市で構成されたNGOです。

現在、加盟都市数が国内の158都市を含む31か国・地域の2368都市になっています。